

令和5年度「星空を楽しむ」 実施報告書



事業の概要

1. 期 日 令和5年11月25日(土)～11月26日(日) | 泊2日

2. ねらい

星空観察を通して、宇宙や自然環境について興味関心を持ち、雄大な自然の中で星空観察することで、自然環境の素晴らしさや大切さに気づき、故郷を愛する気持ちを育てる。

3. 講 師 山陰モバイルプラネタリウム 小川敦司氏 倉吉自然科学研究会 中本義明氏

4. 対 象 小・中学生とその家族 16組

5. 応募者 13組 33名

6. 参加者 5組 13名

7. 参加費 1,800円

8. 日程

11月25日(土)	11月26日(日)
16:30 受付開始	7:00 起床
17:00 オリエンテーション	7:30 掃除(各部屋)
17:50 夕食	8:00 朝食
18:50 星空解説	9:00 退所点検
19:10 星空観察・プラネタリウム 荒天の場合は星空講話	9:20 松ぼっくりツリー作り
20:30 入浴	10:15 片づけ・感想記入
21:50 消灯準備	10:30 解散
22:00 消灯	



II 実施状況

■1日目の活動の様子<11月25日(土)天候 曇り時々雨>

去年の主催では日帰り、宿泊の選択制で実施したが、今年度は参加者全員が1泊2日で宿泊を伴う主催とした。

出会いのつどい後、オリエンテーションで施設の使い方を説明し、夕食をとってもらった。



晴天の場合は星空観察を実施し、荒天の場合は屋内でアプリを使った星空講話を予定した。また、体育館に設置したプラネタリウムドームでは、秋の星座と、星取県の番組を上映し、参加者の方に荒天の場合であっても主催に参加した意義を感じていただけるようにした。

この日は曇り空で、時折降雨がある状態であった。荒天の場合に行う星空講話を館内で実施し、アプリを使用して秋に見ることができる星座について中本さんに説明をしていただいた。解説中、雲が少しずつ晴れてきたので、外に出て観察を行った。施設前のつどいの広場に設置した望遠鏡から、月と木星が接近して見える様子や、土星を望遠鏡で観察してもらうことができた。講師の小川さんや、中本さんに星についての解説をしてもらったり、レンズの位置を調整していただいたりして、参加者全員にじっくり観察をしていただく時間を確保することができた。また、この時期の外での活動は体が冷えるので、毛布を準備したり入浴時間を長めに取って参加者の体調に配慮した。

■ 2日目の活動の様子<11月26日(日)天候 晴れ>

2日目は朝食後、クラフトで松ぼっくりツリーを作ってもらった。グルーガンの使い方を説明した後、松ぼっくりと台座を自由に選んでいただき、アクリル絵の具で着色したり、スパンコールやビーズなどで飾り付けたりして、思い思いの作品を作っていた。参加していた子ども同士で作品を見せ合ったり、保護者の方が子どもにアドバイスをしたりする姿が見られるなど、家族の絆を深める場面を見ることができた。

Ⅲ 総括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・ 天候が悪い中、木星と土星を見ることが出来てうれしかったです。星がますます好きになったと思います。
- ・ 全体的に満足。
- ・ プラネタリウムでいろんなけしきが見えたのできれいだと思いました。
- ・ 土星のリングが見えてきれいだった。
- ・ 松ぼっくりツリーを作ることができて良かった。

2. 成果

- ・ プラネタリウムは新鮮で学びも多いので、今後も主催事業で実施を継続していきたい。
- ・ 専門知識を持っている講師の方に来て説明していただけたことで、参加者の星空への関心をさらに高めることができた。

3. 課題

- ・ 応募者が定員を満たさず、さらに直前まで参加者のキャンセルが相次いだ。インフルエンザの影響もあるが、より多くの方に参加してもらうために広報活動を工夫していきたい。
- ・ 開催日時について、天候のことを考えて、より星空が見えやすい期間に開催するよう日程の調整が必要であると感じた。

